

# 令和3年度 第2回小樽市国民健康保険運営協議会（書面開催） 議題ポイント

## 議題（1）令和2年度 国民健康保険事業特別会計決算について

### 【資料1】

#### 1P

令和元年度と比較して

- ・一人当たり保険料は若干下がっている。  
（新型コロナウイルスに係る保険料減免の影響と思われる。）
- ・一人当たり医療費は若干下がっている。  
（例年一人当たり医療費は増加していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による受診控えがあり下がったものと思われる。）
- ・保険料収納率は上がっている。  
（新型コロナウイルスに係る保険料減免の影響もひとつの要因と思われる。）

#### 2P

歳入－歳出（繰越金）は約1億2,400万円であるが、うち約5,600万円は超過交付分として国・道に返還するため、実質的な国保特別会計の黒字は約6,800万円である。

### 【参考資料】

#### 1P

- ・一人当たり保険料は、道内主要都市で下から2番目に低い。

#### 2P

- ・一人当たり医療費は、道内主要都市で最も高い。

#### 3P

- ・収納率は、道内主要都市で2番目に高い。

#### 5P

- ・後発医薬品（ジェネリック）の利用率は、令和元年度と比較して、数量ベース・金額ベースいずれにおいても上がっている。

## 議題（2）令和2年度 国民健康保険事業報告について

### 【資料2】

#### 5 特定健康診査事業・特定保健指導事業

- ・特定健診受診率は、早期受診者全員へのQ.U.Oカードプレゼントキャンペーンを始め、様々な形で受診勧奨を行った結果、コロナ禍にもかかわらず、前年度受診率19.6%から大幅増の24.8%（速報値）となった。
- ・一方で、特定保健指導実施率は、これまで指導を実施していた保健所が新型コロナウイルス関連業務に追われ、実施体制を整えることができず、前年度より大幅に下がった。

R元 21.8% → R2 5.0%（速報値）

## 6 糖尿病性腎症重症化予防

- ・糖尿病性腎症重症化予防対策協議会を開催（令和2年11月）

### 議題（3）令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算について

#### 【資料3】

- ・【資料1】で説明したとおり、【歳入】①、前年度繰越金は約1億2,400万円であるが、【歳出】③のとおり、令和2年度で超過交付となった約5,600万円を国や道に返還することから、実質的な令和2年度の国保特別会計決算は約6,800万の黒字となり、同額を基金に積み立てる旨、予算を補正するものである。

### 議題（4）その他

厚生労働省等が進める実証事業（保健事業）への参加について【資料4】